

生き物っておもしろい

くるくる回って落ちる植物のたねの模型を作るとばそう

主催：公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）国際生態学センター（JISE）

共催：牛久保公園愛護会

NPO法人子どもがかける虹の森ネットワーク

2022年10月22日（土）

①10:00～12:00 ②13:30～15:30

※雨天の場合は翌日に延期

◆対象：子ども（小学生以上）とその保護者

◆人数：15名（事前申込制、応募多数の場合は抽選）

◆参加費：無料 ◆会場：牛久保公園（横浜市都筑区）

◆申込先：JISEウェブサイト※申込期限：10月8日（土）18時

https://www.jise.jp/jp/2022/06/15/fy2022_study3/



お申込みはこちらから

注意事項：ご参加の際は、新型コロナウイルス感染防止策（不織布マスク着用・手指のアルコール消毒・検温等）の徹底をお願いいたします。同感染症の流行状況によって中止とする場合があります。



シナノキの仲間
（街路樹）

内容（①午前の部／②午後の部）※当日の予定です。予告なく変更する場合があります。

10:00／13:30 市営地下鉄センター北駅前広場 集合
移動（街路樹の観察）

10:30／14:00 牛久保公園てっぺんの広場 到着
いろいろな種・実（右）の観察・落下実験

11:00／14:30 シナコプター工作開始
落下実験

12:00／15:30 解散

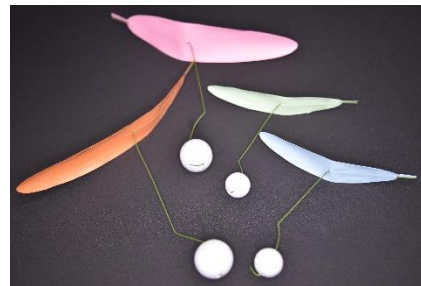


羽やつばさをつけた種・実

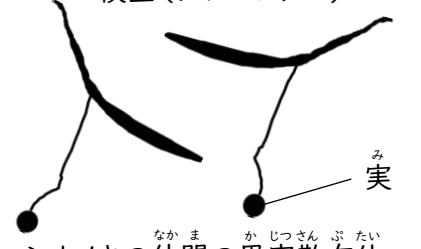
植物のなかには、風をつかって種を遠くへとばして、仲間（子孫）を増やしている種類があります。そのような植物の種や実には羽やつばさのようなものがくっついていて、おもしろい形をしています。

この学習会では、羽やつばさがついているおもしろい形をした植物の種や実を手にとって、じっくり観察します。また、それらを野外で実際に高いところから落として遠くへとんでいく様子を観察したり、シナノキの仲間の果実散布体の形をまねた模型をつかって落下実験を行ったりして、植物の“形のなぞ”にせまります。

生き物の形などからヒントを得て、ものづくりに応用することを生物模倣といいます。風によってグライダーのように飛んでいくアルソミトラ・マクロカルパ（別名：ハネフクベ）という植物の種の形をまねて飛行機を作った例は有名です。この学習会をとおして、生物をヒントにしたものづくりを体験してみましょう。



模型（シナコプター）



シナノキの仲間の果実散布体